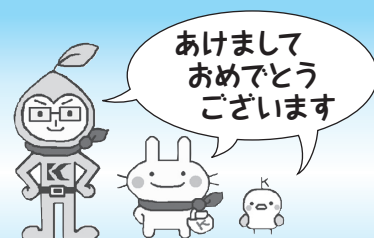


キー坊の環境講座

第75回 持ち込む前の分別にご協力ください

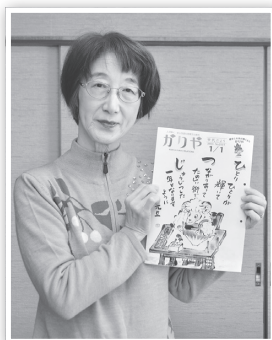


クリーンセンター・不燃物埋立場・資源回収所に不燃ごみや資源ごみを直接持ち込む際は、事前にそれぞれの施設で回収できる品目を確認したうえで、各家庭で分別してから持ち込むようお願いします。

年末年始（12月15日号P11「年末年始 ごみの収集・搬入」参照）や年度末、お盆などの時期は特に混み合いますので、スムーズなごみなどの排出にご協力ください。

詳しいごみの分別方法は、クリーンカレンダーやごみの分け方・出し方ガイドブックまたは市 **HP**（トップページ→くらしの情報→ごみ・資源・リサイクル→ごみの分け方・出し方）をご覧ください。ごみ減量推進室へお問合せください。

問 ごみ減量推進室（☎21-1705）



今号の表紙

もう1枚

～皆さんの幸せを
ひつじくんに託して～

色鮮やかな絵と心のこもったメッセージで気持ちを届ける絵手紙。今号の表紙は、数々の絵手紙コンクールで受賞経験を持つ、中手町在住の堀記子さんからの心の贈り物です。

来たる末年。一富士二鷹三茄子のステキな初夢を見るため、がんばって絵を描くひつじくんを書きました。今年1年が、市民の皆さんにとって良い年となりますように。

編集者 雑感

アツという間に1年が暮れ、人生47年目に突入。歳をとると、1年がすごく短く感じませんか？子どものころは、常に新しいことを学び、興味を持ち、色んなことにチャレンジするので1年が長く感じていたらしい。新たなチャレンジをしてないから時が過ぎるのが早いのかあ…これはいかん！新しいことをしなければ！ということで、まずは“何にチャレンジするかを考えてみる”ことが新たな取り組みってことではダメエ〜かな！？とにかく今年は新しいことにチャレンジしてみよう！

㊦



あけましておめでとうございます。昨シーズンはFC刈谷にたくさんのご声援をいただき、ありがとうございました。今季も応援、よろしくお願ひします！



はぎわら なおと
萩原 直斗 選手
背番号15 DF
群馬県出身（26）
鳴海学童保育クラブ勤務

子どもが大好きという萩原選手は鳴海学童保育クラブ（名古屋市緑区）で勤務しながらFC刈谷の選手として活躍しています。昨年ブルージャ盛岡から加入しました。

FC刈谷には石田監督に熱心に誘われたことがきっかけで入団。昨季はケガで離脱した期間が長いことからクラブへの恩返しをしたいという気持ちを強く語り、今年は自身のケガからの復帰とJFLへの昇格を目標に掲げてくれました。

「走るのは苦じゃない」という萩原選手。運動量が多く求められるサイドバックというポジションで若いチームを引っ張る存在としても活躍に期待です。

【市民の皆さんへメッセージ】

「皆さんに地元のチームFC刈谷をどんどん広めてもらえるよう、僕もFC刈谷の選手として使命感を持って試合に勝っていきたいです。」

問 FC刈谷事務局（☎62-5160）